

831229

オデッサ

ト
券
以
司

8.

5-0267

0054

<p> 日本書紀 卷之六 孝德天皇 二十一年 </p>	<p> 孝德天皇 二十一年 秋八月 </p>	<p> 第五十四卷 孝德天皇 </p>	<p> 又左公文撰 孝德天皇 二十一年 秋八月 乙未 </p>	<p> 外務省 蔵書印 大正十一年 </p>
--	--	--	---	--

通商局

831231

取 會 人 通 政
調 計 事 商 務

次 大
官 臣

Via ξ.

Dated, *Wien*, Feb. 15, 1904. 4-20 p.m.

Received, " 11 " 10-8 a.m.

Komura,
Tokyo.

19. Mr. Iijima arrived today and wait for instructions.

Makino.

電受第

2

號

Wds. 8.

新聞

831232

取 會 人 通 政
調 計 事 商 務

次 大
官 臣

Via

Dated, *Wien*, Feb. 15, 1904. 7.50 p.m.

Received, " 16 " 1.10 p.m.

Komura,

Tokio.

No. 24. In view of withdrawal of our Legation and Consulate from Russia I submit 福田領事館附生 should be attached to this Legation and be entrusted with reading the principal Russian newspapers so that I can telegraph or write to you what I would deem useful published in them.

Makino.

電受第

七

五

八

號

Wds. 4.

目録付

Plain

在

郵印

Tijima

Odessa

You should close
consulate and immediately
leave post with staff.
It has arranged with con-
sent of Russian Govt that
American Consul shall
take charge of Japanese
residents and interests.

Komura

Sent Feb. 10th 1904 3-20 pm.

1
3
9
32
nd.

5-0267

0067

831233

次有

白鳥

奥芽鹿野

領事館引揚ノ願未

三六〇九

57/24

本年二月六日付在露京栗野公使
 ノ電報ニ據リ速ニ當領事館ヲ引揚々填
 國准也納ニ於テ存左相持候標即訓令ノ
 趣了承致候就テハ本月七日引揚ノ準備ニ
 着手シ所直影官印必要書類等ハ取置
 ノ所持致居候得共當館備付ノ諸物亦家
 具類ハ戸棚・算筒等ニ有左ノ箱中ニ詰込
 釘付若クハ籠前ヲ釘ニ出末得ヘキ限リ取置
 堅付々置キ候モ之分ノ荷仕テ致候ニ趣多
 ノ相持テ要シ候一故前領事館通リ取置メ置キ
 候而シテ又其保管方ノ儀ニ就テハ家主左配人
 ニ依頼候事ニ取致候儀家主左配人ノ兼
 テ懇意ノ間柄ニ有之且ツ急場ノ事故喜テ
 其保管ヲ承諾致候然ルニ其物取ニ就テ預リ
 保管ノ證書ヲ懇望致候得共在ニ法律上責
 任ヲ負担スルハ取置ナルヲ先ニ方甚速感テ
 感スルトテ此ノ儀ハ固ク辞退致度ト申中ニ
 引受申出候儀或ハ其深長ヲ引受候
 近ノ口約ニ止メテ戸ノ籠前ヲ預ケ保存方ニ
 付時々注意監督致候儀係取置預致置
 取置ノ當地ノ習慣トシテ恐テ借家人ハ夏期
 三ヶ月間若クハ旅行致テ月ニ度リ借家ノ
 出費ニ場合ニ家具其他造作等一切

在外公館

5-0267

0068

其儀ニシテ家主支配人ニ保管セシメテ門前
 健守ヲ預ケ時々風入レ掃除ヲ依頼スルリ
 相成居居^ハ別間遣ナキ^ハ慣例ニ有^ニ任^ニ任^ニ承^シ及
 候且又種々熟考ノ結果他人ヲ雇^ハ番人
 置クヲ家主支配人ノ保管ニ托スル方當^ル
 安全ナラント思惟候ニ付當分間前頭ノ通^リ
 家主支配人ニ一任スル^ハ一任申^候
 小官儀ハ二月七日付^レス^ルテ可^シ知^事始メ各
 領事館^ハモ今般^ニ在^ル際京公使ノ通知^ニ接^ス
 當^ル親^シ判^ズ鎖^シ銀^ノ額^ヲ引^ケ渡^スメ填^メ國^ノ准^也納^ル
 ニ向^テ出^發スル^ハ十日通知^スル^ハ上^ニ去^ルハ一日午後
 九時下^テ可^シ出^發候^ル前^ニ准^也納^ル到着^候又
 松^本書記生及福田通譯生ハ一日遅^レ去^ル

在外公館

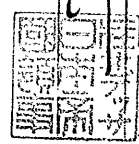
九月^ノ下旬^ニテ^ハ廿^二日午前^ニ離^也納^ル到着^候
 目下一同^ニ當^地ニ^テ到着^候候^ニ付^テ野^上公使^ノ接^候
 ノ上^ニ同^公使^館内^ニ一^室ヲ^テ事務室^ニ借^取ラ^レ残^務
 取^座付^キ等^ニ注^意務^務居^申候^候
 小^官力^不可^シ出^發候^ニ取^付人^氣至^テ沈^静^ニ
 シ^テ何^事モ^無ク^シ候^ハ退^下申^上石^橋^ノ
 記^事ヲ^揚載^スル^ハ及^ヒ人^心稍^々激^昂ノ^徴
 候^ヲ預^メ就^テハ^不可^シ知^事内^部ニ^テ派^遣ス^ル
 六日以後^ハ小^官出^發日^迄ハ^ハ領^事館^後庭^界
 病^者巡^査名^ヲ派^遣ス^ル候^ニ然^ルニ^テ去^ル
 九日^ハ松^本福^田兩^人ガ^不可^シ出^發候^ハ前^頭
 洪^中三^郎等^ヲ露^國軍^艦三^隻我^水雷^ノ者^ノ為^メ
 射^撃セ^ラレ^タル^事カ^レキ^セハ^レ電^報ヲ

831235

新開那外ヲ不ク世間ニ分布セラルルヲ以テ
 世上俄カニ動搖シ街頭ニ民衆群集シ河トモ
 開戦ノ噂囂々トシ人々心為メニ胸々タルノ有様
 ニテ右兩人ノ談話ニ據レバ露國ノ流車中ニ於テ
 ハ英右ノ露人ガ日本人ニ対スル悪口非難ノ
 甚ハ海ナキ程ニ有之候趣ニ候
 右及報告候具
 明治三十七年二月十四日

准也納滞在

領事 飯島龜太郎



外務大臣閣下 小村書長 郎殿

在外公館

5-0267



831236

明治三十七年三月二十五日接寄

官政署 七 5724

奥野武雄

オノケン在国民保護三箇之件

三六一〇

是年三月六日付者大ニテ領事館に揚
 命ニ接シ候ニ付差者、在国民保護ニ関
 二ノ件ニ付在露國乘野公使ニ打電シ間
 右候露國公使手、在露國領事館ニ就
 ハ致シ候ト某政府ト立照申、由迄電ニ接
 シ候リ以テ目下者大ニテ在国民保護ニ
 二名ニ過キルコト以テ第一ノ場合ニ備フル
 美回渡領事ニ然諾被答ニ日本人ヨリ保
 護被出候様、場合有之候節ハ可也
 取付具候、依頼被置候且子左
 二名ノ内、名、蕭テ酒癖アリ人物凶暴ラサ
 ル者之ヲ当地ニ所置候テ、却テ宜シカラ
 サルハント存候、角モ土京コレニシテ、
 立退候様、送諭シ同所迄、旅費ヲ派シ
 置キ候、右二名、多分土京へ出被致メ
 ハクト存候、尚ホ莫斯科、在国民保護ニ
 引揚ノ下テ電報シ又、コレニシテ、
 ノ、在国民保護ニ無之候、其、
 關係アリ、在国民保護故、
 電報ヲ以テ通知被置候
 右及報告候、
 明治三十七年三月二十五日

三月二十五日

在外公館

大臣 次官
 政務 通商 人事 會計 取調
 生 生
 No. 3320.
 despatched, Vienna, Aug. 24th 1904. 2.40 p.m
 Received, " 25th 6.30 a.m

Komura,
 Tokio.

No. 154. Guardian 富極 Our Consulate at Odessa, in your 送第 29 號信, was arrested Aug. 13th by police and detained till Aug. 18th. After undergoing examination, he was forcibly escorted by two gendarmes on the day latter as far as Austrian frontier and he was arrived in Vienna. U. S. Consul in Odessa rendered him every assistance and has taken charge of the Consulate quarter. Will send 富極 back to Japan by next mail?

Makino.

手
 下
 中
 録
 録
 脚

831239
 大臣 次官
 政務 通商 人事 會計 取調
 生 生
 Dated, Washington, Sept. 17th 1904. .m.
 Received, " " " " " " " " 5.10p.m.

Komura,
 Tokio.

No. 213. Sept. 16th State Department received report from United States Consul at Odessa to the effect that he took custody of the Japanese Consulate at Odessa and engaged watchman Augt. 23rd at thirty roubles per month. As to Japanese servant expelled, I think you have received report from Minister Makino.

Takahira.

電受第 3665 號
 Wds. 32.

有
 手
 下
 中
 録
 録
 脚

Handwritten initials and a circular stamp.

831233

Tokuhira
Washington

295 In reference to
your telegram 189 you
should at once ask
U.S. Govt to kindly
instruct their Consul
in Adessa to at once
take custody of our
consulate and further
to engage, if necessary,
special ^{watchman} guardian at
the expense of the Japanese
Govt.

電
区
二
一
〇
三
24 hrs.

Komura

Sent Aug. 21 1904 4.40 pm.

5-0267

0074

大臣
次官

政務
通商
人事
會計
取調

電受第 3236 號
Wds. 46

Via

Dated, Washington, 190 . .m.
Received, Aug. 21st " 4 9.15 a .m.

Komura,
Tokio.

L89.

United States Ambassador to Russia reports as follows:- Servant left in charge of Our Consulate at Odessa has been arrested and is to be expelled from Russian Empire on a charge of maintaining secret relations with agents of Japanese Govt. It is desired that any steps taken in the matter beyond instructing United States Consul in Odessa to take charge of archives or other effects, if any, asking for instructions.

田
谷
フ
要
ス

Takahira.

5-0267

0075

831240

六ヶ所

第 二 〇 号

一三一七二

「オデッサ」領事館監守人高野喜一、横國々境迄
護送せしむ付本邦へ送戻しノ件

去四月甲付照会第二号ヲ以テ「オデッサ」領事館、飯島忠
太郎ヲ東京法政学校ニ送付シテ領事館監守人高野喜一候
ハ本月十三日忽シテ横國々境迄護送せしむ付本邦へ送戻し
品一切ヲ取調ラレ領事館入口ニ都テ警察署ヨリ封印
セシ由ヨリ本邦人ハ五日間同國々境迄護送せしむ付本邦
ハ日富兵ニテ之ノ為メ國々境迄護送せしむ付本邦
人多少ノ秘金ヲ有シ居テ同國々境迄護送せしむ付本邦
若シテ右ノ次第ニテ陳述ニ及ヒテ就テハ本人ヲシテ

在 白 日 本 公 使 館

高野、備存せしむ付本邦へ送戻しノ件、本邦へ送戻しノ件、
船「オデッサ」号、便乗せしむ付本邦へ送戻しノ件、
飯本日共百七十四号、電報ヲ以テ右ノ趣及具テ本邦へ
該領事館ハ、横國々境迄護送せしむ付本邦へ送戻しノ件、
ハ「監守」方ニテ、飯島領事館ニテ、同地駐在米國領事
ラレシ際、同領事館ニテ、通話生及士官等ヲ派遣シ本
人所有品ヲ警察署ヨリ取テ本邦へ交付シ領事館
入口ニ更ニ米國領事館ニテ封印セシムルニシテ、
旋ノ旁ヲ取テ由テ本邦へ送戻しノ件、謝辞申送リ、
ホ今迄同様ノ看守方ニテ、領事館ニテ、
本人送戻ノ件、横國々境迄護送せしむ付本邦へ送戻しノ件、
並ニ本邦へ送戻しノ件、
考ノ為メ本人ヲ提カセシ本邦へ送戻しノ件、陳述者ニテ、

24

831241

テララ状況記事ヲ添送進テ致具

明治二十七年八月廿四

在奥

特命全權公使牧野伸顯

外務大臣男爵小村嘉太郎殿

在自日本公使館

5-0267

0077

実費支拂書

澳貨七百五拾六クロネ四拾ヘリ也

オテ子領事館監守人属程喜一本邦送還費

内譯

澳貨四拾八クロネ七拾ヘリ也

惟也船ヲ伊太利デア迄
下等汽車賃一人分

一令六百七名一ネ七拾ヘリ也

伊太利デアヲ横濱迄
下等汽船賃一人分

一令百クロネ也

露澳國境ヲ惟也船迄下等
汽車賃及惟也船滞在實費
八月三十一日ヨリ三十一日迄

右支拂ヲ要シ候ニ付十一時奉官ニ於テ立替支拂候也

明治七年八月三十一日

在澳國公使館出納官吏

公使館一等書記官西添四郎

28の2

831242

露國「オデッサ」日本領事館ヲ去リタル儀ニ就テ

私事曰露開戦以來露國「オデッサ」日本領事館アトニ留守致居候モノナルガ去ル八月十三日晝食ヲ取ラン為メ外出候其途中警吏ノ為メニ警察ニ拘引セラレ未決監窓ノモトニ全八月十八日ニ至ル五日間監禁セラレ同日午後九時露澳ノ國境迄露國憲兵ノ護送スル処トナリ國境ヨリハ單獨ニテ、ウヤンナニ公月二十日着シ申候、始メ警吏ニ引連レラレ警察ニ至ルヤ多数ノ警吏立會ノ上被服ヲ解カシメ鍵ヲ除キ所有品一切ヲ取上ゲラレ候ガ當時所有致候モノ懐中時計、會話本、領事館入口ノ鍵、知人ノ名紙及一枚ノ落書シタル紙片ニ候、其内落書シタル紙面ニ注目シテ曰ク此紙片「ペテルブルグ」ニ送達ノ必要アリ就テハ返信アル迄當署ニ監禁スト、當時私事ハ強テ争ヒ申サズ

在澳國日本公使館

唯目下米領事ノ保護ノ下ニアレバ該領事館ニ通報ヲ望ミ申候、如斯ニシテ翌十四日ニ至リ候ガ當日午後二時米國領事館ヨリ通譯生一武官ト同行シテ未署セラレ候、ハシガ私ヨリ事ノ經過ヲ一通リ聞取ラレ候上再來ヲ約セラレ立帰ラレ申候、十五日ハ又々晝頃通譯生一武官ト同行未署セラレ私ニ向テ曰ク「ペテルブルグ」公使ニ電信ヲ以テ伺ヒタルニ返電アリ近日萬事好都合ニ落着スベシト、於是鍵ヲ通譯生ニ相渡シ通譯生ノ助言ニ從テ取敢エズ監窓ノ不便ヲ免ント欲シ私ノ所有品ヲ署ニ廻送セラレシコトヲ依頼ス、通譯生ハ十八日未訪セラレシコトヲ約セラレ立帰ラレ候ガ本日ヨリ署ノ取扱亦前日ノ如カテズ稍々丁寧ニ候得シ、一ニ是レ米國領事館通譯生ノ警吏ニ對シ助言アリシニ因レル次第ト考候、十八日午後七時頃通譯生私ノ所有品ヲ持來テレ曰ク領事館アトハ裏表入口既ニ警察ニ於テ封印シアリシモ本日該封印ヲ解キ新タニ米國領事館ノ封印致シタルバ安心

5-0267

0079

831243

セラルベシ而テ尚ホ再ビ私ノオテッサニ滞留ヲ望マレンニハ一兩日
中シカ取斗フベシトノコトニ候ヒシガ、私ハ答フルニ依然滞留センコ
トヲ以テセシニ通譯生ハ其意ヲ了シテ立還ラレ候ガ通譯生ノ立
歸ラル、ヤ否ヤ突然隣室ヨリ署長五人ノ憲兵ヲ引連レ来リ私
ヲシテ一言ノ口ヲ開カシメズ馬車ニテ停車場ニ差送り停車場
ヨリシテハ二人ノ憲兵ヲシテ護衛セシメ澳國國境迄差送申候
明治三十七年八月二十三日

オテッサ領事館監守人 富 樫 喜 一

在澳國日本公使館

831244

オデッサ状況記事

敬白

御承知ノ如ク私軍 オデッサ = 滞在中見テ此處 = 多ク苦痛 = 申上矣
 開戦以來 オデッサ = 是日ハ日進フテ沈滞ニ 製造工業ナゾハ 退却休
 業ノ 途ト言フテ可ナルベシ 序序ハ何レモ不景氣ヲ 同タガルモノナリ 持 = 私裁
 親シク見テ此處 = ヨルバ 手工業者ノ如キハ 寄テ 教人ノ 助ヲ 置キタル
 モ 両方人 = 減じ 両方人ノモハ 主人一人ナリ 尚ホ 労銀ヲ 減じ 仕事
 ヲ 竟ヒ 止ルモノラシク 幸作如新ナリ 此處 彼處 主人ト 労働者
 ノ 折合 互ニ 相ラズ 時々 労働者ノ 秘録 アラント 風ニ 耳 = 致シ 矣
 宛民 食乞ノ 如キハ 從テ 甚ダシク 増加シ 市長 = オデッサ 市吏ヲ 派シテ
 田舎 = 金取ノ 恤送ヲ 勸説シ 救民ノ 爲メ = 大ニ 勉メ 各ルモノハ 如ク 矣
オデッサ 一帯ノ 景氣 如斯ナルモ 内地ヨリ ボリヤク ユーレー 人 = シテ 移住シ
 來ルモノ 甚ダ 多ク 矣 得シガ 彼等ノ 語 = ヨルバ 内地ハ 不景 亦 勿論 = シテ
 到底モ 安ジテ 住居 致シ 難タルモ オデッサ ハ 誠ニ 安穩 ナリト 幸 = 矣 以
 テ 内地ノ 如何ハ 爲シ 得ラルベク 矣
オデッサ ハ 御承知 通り 外國人ノ 多ク 矣 爲メ 日露ノ 戦争 = 對シテハ 僅カニ 露
 人ノ 向ニ 三ハ 變ニ 爲ルモノ アランモ 全体ノ 上ヨリ 迄バ 至テ 冷淡ナルモノアリ
ユーレー ブリーキ ボリヤク 人ノ 如キハ 大ニ 日露ノ 事情ヲ 表シ 露軍ノ 敗退
 ヲ 喜ビ たり 幸矣 軍資 恤兵 = 出金スルモノト 皆 無ノ 途ヲ 先 頃 俄
 傳兵ノ 檢覓 點呼 有之 矣 得シガ 當時 豫備 徴集ノ 風ニ 專ラ ナリシ

= 際ニ ユーレー ボリヤク ^{人ノ 多クハ} 兵ヲ 集メテ 他國 = 移住セシム 欲スル
 モ 多ク 矣 今ヤ 露國 = 社ニテハ 他國 = 出ダシテ 許サズト 言フナルモノナリ
 毎々 見テ 此處 = 有之 矣
 黒木 守軍ノ ボリヤク ナリト 評判 及ビ 在米ノ ユエデア 人 日本 = 金銀ヲ 寄送
 シ たりト 記事 (新ナリ) 有 人 = 並ニ トラマ 感テ 幸ヒシモノハ 幸ク 露人ト
 又 視之シガ 爲メ = 一尊ニ 來リシモノハ 幸ク 矣
オデッサ ノ 住民ハ 殆ド 露國ノ 新ナリト 信ゼザルモノハ 幸ク 日軍ノ 勝利ハ 元
 ヲ 知リシ 爲ルモ 死傷ノ 數 = 至リテハ 日軍 遠カニ 大敵ナル 不信ニ 爲ラレ
 終局ノ 勝利ハ 一人トシテ 未ダ = 日軍 = アリト 言フモノアルヲ 幸ク (是レハ
 心ヲ 打テ 動搖セザル 由ニ 爲ル) 係ニ 日兵ノ 勇膽 能ク 戦フト 言フ 點 = 至リテハ
 歎息シタルモノハ 幸ク 矣
オデッサ 軍團ヨリハ 三月下旬 六千 兵 (重 = 要塞兵 + リトノト = 矣) 東ニ
 下シタル 申ヲ 幸ク 矣 其後 此處 = 至ルニ 現役兵ノ 内ヨリ 志願ノ 兵ヲ
 送リタルコトアリ 志願 將校ノ 下リタルモノモ 少ク 矣 軍吏トシテハ 幸ク 矣
 ヲ 幸ク 矣 スレバ 六千 内外 = モナラニカ 長勇兵ノ 常ニ 採用シタルモノハ 幸
 ク 長勇兵ノ 内ニハ 學生ナゾモ 有之ニ 亦 不 幸 矣 次ニ 六月下旬ノ 間
 ナリシガ オデッサ 軍團ヨリ 電信隊トシテ 右ノ 電 = 二 月以上 派遣セ
 ラレタルコトモ 有之 矣
 私裁 オデッサ ヲ 去ル 當時ノ 風ニ 爲シテ ヨルバ 豫備兵ノ 必ズ 徴集セ
 ラルナリトノ 言ハ 幸ク 矣 一帯ノ 規模ニ 對シテ 幸ク 矣 = オデッサ ノ 國



831245

境にあり、亦外国人ノ字ヲ任スル處ニ至リ、軍事ニ用スル進退ハ、
 至テ注意ヲ加ヘ、隱密ニ爲セラルモノトシテ。
 人心ハ大ニ動搖シタルモノニ相異ナキモ、市長ノ既ニ屋ヲ居テ、警備
 ノ既ニ市街ニシテ、大ニ表ニ顯ハルモノハ、如ク、外面ノ大平ヲ築キ、公
 園ヲ作リ、等ハ例日セヨ音楽ヲ奏シ男女ノ字ヲ携ヘテ浪ニ放
 策スルモノナラス。
 係ニ公園内ノ飲食ヲハ至テ同致ノ模様ニテ、収入ハ例年ノ半ニ
 過ギズト、是レ親ノ預テ主ノ波ラス也。
 七月下旬ノ頃ナリ、馬海ノ戰艦數艘、オデッサ港沖ニ暫ラ停
 泊。該艦去リテ、亦三艘ノ戰艦東泊セルコナリ、本月十ニ日亦二
 艘ノ戰艦東泊。數時間ノ後、港ヲ去ラセラルガ、是レ一人氣ヲ喪
 シタルモノ東泊セルモノナラズ。
 税關ハ至テ用致ナリトナラズ。
 港内ノ模様ハ七月中旬以來、普通ノ客船ヲ既隔キ交得ハ、
 日々一二艘ノ出版ニシテ、(是レ亦、船ヲ何カ積ニタルモノナリ)入船トテハ
 稀ニ交得シ、八月上旬ニ至リ、防波堤ニ添テテ常ニ八九艘ノ船
 身艦ヲ見申ス。是等ノ船ハ時々二艘或ハ三艘、或ハ四艘列テ脱
 シテ岸ニ着ケ、如新シテハ以前ノ位置ニ戻リ、日々動キナリ交得
 シガ、何ナドモ此ノ力實地見達ケ申サズ交得共、今日ニ於テハ、
 船身ノ沈、前日ニ比シテ少深キ如ク見受テ申ス、亦七月二十日

前後ノト覺エ巧矣ガ、海ニ向テ左方ドック工場方面ヨリ、重荷揚
 降器ヲ小蒸沸ニテ右港内ニ運ビ入レタルト數度見受申ス。七
 月二十七日朝ノトニテ、港内沿岸巡視交得セ、重荷揚
 場ニ麥粉少トヤ、大ナル板木瓦反ビモテナク樽ヲ見受
 交、他ニ荷アルヲ見ズ、亦積荷致シタルモノト見受申
 オズ交得ガ、八月始メ數艘ノ船身石炭棟ノ載積
 交フテ、小蒸沸ニ引カレ港ヲ出ルヲ四五度見受申ス。風ヲ
 吹ハ中ニ碇泊致シタル運送船ニ運ブナリトナラズ。
 オデッサ港内ニ碇泊致シタル船身艦隊ノ船ハ、バルチック艦隊
 ト共ニ動クモノナリト見テ、シテ見受。
 造船所ハ繁忙ノ模様ニシテ見受。

 明治三十七年八月二十三日 吉 桂 幸

追白、監憲ノ内ハエーレー人多カリシヤク、税關ノ殆シト四疊
 位ノ監室(監室ニ甚ダキハ八九人ヲ押込ナリ、監憲滿復ノ模
 様ニ御座交得ガ、私入監中新入ノモ、警吏ニ對テは
 順ハ不信スベシトテ怒声ヲ発シ幕言スルモノアリテ、如
 斯ノ動作ハ、テリサ大政ノ意行ヲ代表シタルモノト考テ、入
 監者ハ、年ハ年者ニテ、幕行ノ結果ラレ見受ケラレ申ス。

明治廿七年十月廿四日
同八年十月廿四日
起草
日發遣

次官



主任



明治廿七年十月廿四日

98

24

在横 牧野俊亮 新田正友

五七

在石川右衛門氏引揚費用

付

三十七年十月八日

外務省

在支テツ中領事館監守一箇程書一

石川右衛門氏引揚費用

美田才並、該漢還費用由支記及

於ラ左様ニシテ我、關シ、八月廿四日第一

ニ、備、引揚費用、在、石、川、右、衛、門、氏

右、番、氏、引、揚、費用、在、石、川、右、衛、門、氏

引、揚、費用、在、石、川、右、衛、門、氏

此上、臨時、在、石、川、右、衛、門、氏、引、揚

重ノ少可量用支弁改申在受右
 日ノ境遇ノ采シラ之ノ恰高スル哉各
 能ク不照所シ在吾免ノ角其像を
 換又所呈シ能クトハ信在也獨災七
 百五拾六ノ子四拾ハリテ前記量目ヨリ
 支出西書記友家送申方取
 東貨力能ク程取調申取在換也
 近納スルヤ以共各取取申貴報取取
 外務省

此致中書也

831248

右の如し七紙

在オデッサの事 館 護衛内事件

第一四一五一號

要目付了

取為人係利
在場には能く
快く下へ送る
べきものなり

五オデッサの事 館 護衛内事件
客月廿日申二九郵 電法に於て四月廿一日
の五紙の事 館 護衛内事件 在オデッサの事
中 護衛内事件 在オデッサの事 館 護衛内事件
事 報 告 内 容 事 報 告 内 容 事 報 告 内 容
事 報 告 内 容 事 報 告 内 容 事 報 告 内 容
事 報 告 内 容 事 報 告 内 容 事 報 告 内 容
事 報 告 内 容 事 報 告 内 容 事 報 告 内 容
事 報 告 内 容 事 報 告 内 容 事 報 告 内 容
事 報 告 内 容 事 報 告 内 容 事 報 告 内 容

在外公館

四月廿九日
在オデッサの事

特命を承服 官年々五郎

小澤重三郎 官年々五郎

5-0267

0085

No. 780.

AMERICAN CONSULATE,
Odessa Russia,

August 27, 1904.

Honorable Alvey A. Adee,
Acting Secretary of State,
Washington, D.C.

Sir:

I have the honor to acknowledge the receipt of the following telegram:

Washington, D.C., August 22.
American Consul, Odessa.
Take custody Japanese Consulate engage watchman if necessary.
Adee.

This message was received on 23rd instant, and I engaged a watchman the same day at thirty roubles per month.

I have also taken custody of the consulate. I may add that the Ambassador had previously instructed me to take charge of the Japanese consulate and I have done so to the extent of causing the place to be sealed up by the Russian authorities pending more definite instructions.

The arrival of your telegram authorizing me to engage a watchman enabled me to assume charge of the place.

I notified the Governor of Odessa on August 13, that the person in charge of the Japanese Consulate had, on that date, been arrested by the Gensdarmes and consequently the Consulate was without protection. I asked that special police protection be given the place.

831249

0086

5-0267

My request was promptly granted, the doors of the Consulate were sealed and the police placed on guard.

These have now been withdrawn. The servant or person who was left in charge by the late Japanese Consul was expelled from Russia on August 17, 1904. He was a Japanese whose name as given by the Russians was Kirchi Tagasi. I have sent the Ambassador a full report of the case.

I am, Sir,

Your obedient servant,

Thos. F. Heenan,
Consul.

P.S. I have received a letter from the Japanese Minister at Vienna, in which he thanks me for the services rendered Tagasi, and he requests me to take charge of the Consulate.

831250

0007

5-0267

831251

字

廿八年一月廿日午後

分一八二号

一三三三号

オテツサリ上レ

飯島書記及保管ニ係ルル事
電信符号引継ノ件

飯島ニお書記及公般保管ニ係ルル事
テハオテツサレ在勅中同及保管ニ係ルル事
(西階下并ニ皇太子殿下) 冬ニ兼ハ西一お書
記及ニ於テ電信符号ヲ臺母ハ本及ニ於テ
まハ引継更保管ノ事スルトナシ御書ヲ製
シ引継テ了シ決意テ電信符号引継書
ハ制規ニ授リお取、通リ及此送付、条右
様所取及成取、及中此取及取
明治三十七年十一月二十日

外務省

左ノ様

特命全權公使板垣退三

外務大臣 男 青木村壽吉 印 取

(西階下)

原書、電信符号保管記書、同之付摺圖
之部中ニ在リ

831252

外務省告示第四號
在オアフ島帝國領事館ハ本月二日開館セリ
明治二十九年四月七日
外務大臣 侯爵西園寺公望

外務省

24
オアフ島
領事館

5-0267

0009